

# 《かたり》におけるタクシスの表し方

郭 雲 輝

## 0. はじめに

本稿は、中国語による小説の《かたり》においてタクシスがどのように表現されているか、更にそれはアスペクト・テンスの表現形式や時間副詞とどう関わっているかなどを考察しようとするものである。

本論に入る前にまず、考察するに当たって必要ないくつかの概念を確認しておきたい。

小説などは、普通、「地の文」と「会話文」とから構成されているが、「地の文」はさらに、「かたり手ができごとを記述している文＝かたり」と、ものかたりの世界の中の「登場人物の内的意識世界での発話を再現している文＝内的独白」とに分けられている<sup>1)</sup>。本稿では、主に《かたり》に焦点を絞って考察を進めていきたいと思う。

更に、「タクシス」とは、工藤 (1995 p10) によれば、〈出来事間の時間的順序性〉である。そういう出来事間の時間関係は、「継起性」と「同時性」という二つの対立するカテゴリーに分けられている。本稿は、この区分に従って考察していくこととする。

従来の、中国語の時間的表現に関する研究は、タクシスの観点に欠けているように思われる。そして、有標 (marked) の表現にばかり目を奪われている嫌いがある。現代中国語におけるアスペクトは、有標の形 (動詞に“了”“着”“过”など、いわゆるアスペクト助詞のついた形) と無標 (unmarked) の形 (動詞にアスペクト助詞のついていない形) の対立によって表現されているとすれば、無標の動詞の使用も当然研究の対象になるわけである。もちろん、アスペクト的な意味を表す際に、動詞の形態論的な手段によるだけではなく、時間副

詞もかなり重要な機能を果たしていることは言うまでもない。時間副詞を広義のアスペクティブなマークと考えられなくはあるまい。

なお、本稿で取り上げたのは、一つの文によってなんらかの時間的な関係を持つ、二つ、あるいは二つ以上の出来事が表現されているものである。したがって、例1)のような、テキストによってなんらかの時間的な関係を持つ二つ、あるいは二つ以上の出来事が表現されているものは対象外である。

- 1) 我跟着母亲和四弟回到了家里。我向父亲认了错。父亲当时没有任何原谅我的表示。(岁 p995)

## 1. 継起性の表現

継起的に起こる動作（「変化」「状態」も含める。以下同）、つまり〈先行＝後続〉という時間的な関係で結ばれる動作を記述する際に、動作の成立の順序に従って線状的に動作を言い表す文、あるいは句を並べるのが普通である。その場合は、同じ主体による二つ、あるいは二つ以上の動作を表すのもあれば、異なる主体による二つ、あるいは二つ以上の動作を表すものもある。先に同一主体の場合、その後異なる主体の場合を見てみよう。

### 1.1 同一主体による複数の動作の表し方

普通の間人なら誰でも異なる動作を次から次へと行っている。つまり、一つの動作をいつまでも続けて行うということはほとんどなく、次の動作を行うことによって前に始まっていた動作に終止符を打つことになっているのである。このような、時間的に相次いで行われる、同一の主体による二つ、あるいは二つ以上の動作を言い表す文は、「二股述語文」とも呼ばれており<sup>2)</sup>、かたりのテキストにはよく使われるものである。そして、同一の動作主体を表す主語も、原則として二回か二回以上繰り返される必要がなく、先行する動作を表す動詞の前に現われるだけで十分なのである。

- 2) 王一走到白老师跟前，朝大家点点头。(渴 p11)

- 3) 女人从车里下来, 向前走。(朗 p187)
- 4) 老李从口袋里摸出二块钱来, 不动声色地将钱递给了阿二: “好吧, 给我来三个五香蛋。小朱, 我们就尝尝他这五香蛋味道怎么样。”(走 p71)
- 5) 她的母亲和她的父亲离了婚, 嫁给一个意大利人去了意大利, 从此白银就和父亲白己贺生活在一起。(无 p1)
- 6) 尹初石没有回答妻子, 轻轻带上门, 来到大街上。(渴 p19)
- 7) 石得宝一转身回到屋里, 脱掉衣服钻入被窝, 打算睡过这一天。(鲁 p176)

上に挙げた例は、無標の場合である。つまり、どの動作が先行して、どの動作が後続しているかは、語句ではっきりと示されていないで、ただその動作の行われる順序に従って述べているだけなのだが、読み手がその記述の順序(動詞の並ぶ順序)から、実際の動作間の時間的な関係が読み取れるわけである。次に挙げるのは有標の場合である。先行する動作と後続する動作の時間的な関係を明示するために、副詞特に時間副詞がよく利用されている。次がその例である。

- 8) 他来到儿子的三屉桌旁, 先拖过书包, 把里边的书本, 作业簿一擦擦掏出, 飞快地检索, 掏出两本包着书皮儿的小说, 坐下仔细翻阅。(王 p432)
- 9) 他和杨诚进去后, 同每个人都象征性地握了握手。(抉 p472)
- 10) 他告诉白银有事需要到场里去, 便匆匆下了楼。(无 p6)
- 11) 李高成话一说完, 径自站了起来, (略)(抉 p219)
- 12) 她用煤油炉烧了水, 又到街对面的小吃店里买了几个茶叶蛋, 等铁军回来要是饿了好吃。(玉 p132)
- 13) 小姐非常熟练快捷地打开酒瓶, 紧接着又要过几个大杯子来, 哗哗的一个人倒了大半杯子, 两瓶酒就已经没多少了。(抉 p180)
- 14) 门卫正要拦他, 走到跟前看见是他, 赶紧向他示意并点了点头, 并告诉他说家里还有不少人在等着他。(抉 p210)

先行する動作と後続する動作の間には、ただ〈先行=後続〉という時間的な

関係だけではなく、その他にもいろいろな意味的な関係が看取できる。

例えば、例5)では、“离婚”は後続の“嫁给一个意大利人”の〈前提条件〉であり、離婚しなければ再婚はできないからである。

例12)における“到街对面的小吃店里”は、後続の“买了几个茶叶蛋”の〈方法・手段〉である。例13)でも、“打开酒瓶”“要还几个大杯子来”は、“倒了大半杯子”との関係において、〈方法・手段〉として現われている。つまり、後続する句によって表現されている動作を実現するために、それを引き起こす動作を方法・手段として意図的に行うのである。先行する動作が〈方法・手段〉として機能しているとすれば、後続する動作は〈目的〉であるということになる。

例14)となると、“走到跟前”は“看见是他”の〈きっかけ〉となるし、“向他示意”は“点了点头”の〈目的〉である。

しかし、相次いで行われる同一主体の複数の動作は、何らかの目的のために行われる複合的な動作と見てよいものがある。例えば、例4)の“从口袋里摸出二块钱来，不动声色地将钱递给了阿二”は、〈支払う〉ために行う具体的な動作であり、例7)の“脱掉衣服钻入被窝”は、〈寝る〉ための準備である。

一方、アスペクトの表現の仕方から見れば、先行する動作を表す動詞の後ろには〈完了〉を表すアスペクト助詞“了”が付いているのがむしろ少ないのである。それに対して、後続する動作を表す動詞には“了”が付くことはしばしばある。つまり、先行する動詞に“了”がついていなくても、二つの動作の間に存在する、〈先行=後続〉という時間的な関係は変わらないのである。後続する動作が〈完了〉したものであれば、先行する動作も当然〈完了〉したものであるということになるのである。しかし、後続する動詞が移動動詞だと、事情が違ってくる。

- 15) a. 吃饭去。  
b. 吃了饭去。  
c. 吃完饭去。

つまり、“了”を従えない動詞、または動賓構造の動詞句が移動動詞に先行していれば、移動の目的を表すことになるのだから、その動作が移動動作に先行するものであることを明示するために、前に配置されている動詞は“了”を従えていなければならないのである。もちろん、助詞“了”ではなく、補語“完”を従えていても、同じ機能を果たすことになるのである。

従来、中国語にはテンスというカテゴリーが存在しない、具体的に言うと、“了”が〈過去〉を表すテンスのマーカ―ではないことを主張している学者は、その大きな理由として、“了”が未来の出来事を表す文にも使われることを挙げている。しかし、例16) aのように単文の動詞の後ろに現われる“了”と、例16) bのように共起する二つの動詞のうちの、先行する動詞の後ろに現われる“了”とを同一視してはならない。

16) a. 我吃了。

b. 我吃了去。

この例では、aの“了”は〈完了〉というアスペクト的な意味を表すと同時に〈過去〉というテンス的な意味も表しているのに対して、bの“了”は先行する動作の〈完了〉を表しているだけである<sup>3)</sup>。使用の条件が違えば、“了”の表す意味機能も違って来るから、混同することは許されまい。

一方では、明らかに過去の、完了した動作を表しているのだが、後続する動詞には“了”が付いていない例も少なくはない。このことから、中国語では、アスペクト的な意味・テンス的な意味を表すのには動態助詞、あるいはアスペクト助詞とされているものを従えるのは場合によっては義務的でないことが分かる。この現象は、中国語のアスペクト・テンスのマーカ―がまだ文法化(grammaticalization)の過程にあることを物語っているのではないかと思われる。もっとも、どういう場合に有標の形で表さなければならないのか、どういう場合に無標の形で表さなければならないのか、また、どういう場合に有標の形でも無標の形でも表してよいのかを明らかにすることは、中国語のアスペクト・テンスの研究者にとっては避けて通れない課題なのである。

しかし、後続する動作が続いていることを表す場合には、その動作を指し示す動詞の後ろには“着”がついたりする。

17) 她从床上坐了起来，歇斯底里地喊着。(走 p83)

18) 我喝完了一瓶汽水，玩着麦管。(王 p557)

次の例では、“哭”が補語“起来”を従えているため、後続する動作の開始を表している。

19) 妇女主任抬起头，愣愣地看了一会镇长，忽然“哇”地一声哭起来。(岁 p1335)

一方では、動作の主体を表す主語が基本的にいちばん前に配置される動詞の前に位置することは上述した通りであるが、僅かながら2番目の動詞の前に配置されることもある。次の例に見られるように、(時間を表す)状況語の機能を果たすものに限られているかもしれない。

20) 说到这里，吴铭德小心翼翼地看了李高成一眼，然后又小心翼翼地说到：“(略)。”(抉 p77)

## 1.2 異なる主体による複数の動作の表し方

例 21) ~ 23) は無標の場合であり、例 24) ~ 26) は有標の場合である。いずれにしても、異なる主体による複数の動作を表す動詞が共起するというような文はあまり多くないようである。

21) 王一走到房门前，尹初石拦住她，“我不允许你出去。”(渴 p105)

22) 小乔伸手向她打招呼，她说对不起，有事耽搁了便坐进小乔对面的座位。  
(渴 p224)

23) 她想，父母进了牛棚，佣人被辞退，我们不是主人谁是主人？(无 p65)

24) 李高成一说完，杨诚马上表态完全同意李高成的看法和观点。(抉 p150)

25) 当身旁的小姐去跟吴新刚跳起舞来后，李高成又让吴新刚那边的两个小

姐一块儿唱了起来。(扶 p181)

26) 那一天客人走了之后, 若木躲进自己房间里笑了起来。(岁 p1400)

異なる主体による二つ、或いは二つ以上の動作を指し示す動詞が並ぶ場合は、その動作の間に確認できる意味的な関係の種類が限られているようである。上に挙げた例では、先行するある主体の動作が後続する別の主体の動作を引き起こす〈きっかけ〉(例 21)、22)、24)、25)、26)) として、〈原因〉(例 23)) として機能している。意味的な関係がバラエティーに富んでいない、これがこのタイプの文が発達していない理由だと考えられる。そして、上の例によって示されているように、同一の主体の場合と違って、異なる主体の動作であることを明示するために、主語を省略しないのが普通である。

## 2. 同時性の表現

同時というのは、二つ、或いは二つ以上の動作が時間軸の同じ時点に共存することを意味する。二つ、或いは二つ以上の動作が同時に存在することを表すには、継起の場合と違って、基本的に何らかのマークが必要になってくるのである。この種の文も、動作主体が同一であるかどうかによって二つのタイプに分かれている。

### 2.1 同じ主体による同時的な動作

ここでは、同時に存在する、同じ主体による二つ、あるいは二つ以上の動作を表現する場合を考察するわけであるが、まず、先行する動詞にも後続する動詞にもアスペクト助詞“着”がついている例を見てみよう。

27) 他只能默默地听着, 默默地记着。(扶 p35)

28) 她不说话, 眨着眼睛看着尹初石。(渴 p52)

29) ……亭里边一个小伙子抱着膀子瞅着她, …… (门 p323)

30) 他覆盖着微微发抖的小手凝视着她的眼睛, 她的眼睛里满是无邪的清澈。

(无 p49)

アスペクト助詞“着”は、〈継続〉というアスペクト的な意味を表している  
とすれば、それによって表現される、継続するレアルな動作は当然、時間軸に  
位置するわけである。先行する動詞の表す動作が位置する時間軸のある時点  
(基準点)において、もう一つの動作がそれと共起すると、同時的な関係をつ  
くることになる。

しかし、例 27) を除いては、いずれの場合も、前に配置される動詞が副次  
的な動作を表すものであり、後ろに配置される動詞の指し示す主要な動作の側  
面、言い換えれば、動作主体の〈様態〉(例 28) ~ 30)) を表していて、その  
動作を特徴付けているのである。例 27) の場合は、二つの対等的な動作の共  
存、つまり文字通りの同時的な関係を表している。このような例はむしろ少な  
いのである。

動作の継続を表すには、アスペクト助詞“着”を使用するのは唯一の手段で  
はない。そしてまた、“着”を使用すると同時に、他の表現手段を併用するこ  
ともある。二つの表現手段を同時に使うのは、〈継続〉というアスペクト的な  
意味、〈同時〉というテクスト的な意味をはっきりと表現しようとするためだ  
ろう。次に挙げる例は、“着”と、動作の継続を表す“在”、または、変化が起  
きていないことを表す“依然”とを併用するものである。

31) 她沉着脸瞪我，嘴里还在咀嚼着。(王 p149)

32) 高成也依然笑着，但心里却在默默地揣摩着杨诚的这些话。(扶 p157)

次の文における三つの動詞とも“着”を従えているのだが、いちばん後ろに  
配置されている動詞の指し示す主要な動作との関係において、いちばん前に配  
置されている動詞は〈ふるまい状態〉を、真中に配置されている動詞は〈様  
態〉を表している。

33) 镇长也一直安然地坐着，带着一种憨憨的新奇看着众人。(岁 p1332)

次の2例は、両方とも三つの動詞が並べられているが、そのうちの、先行す  
る二つの動詞には“着”がついている。例 34) の場合は、三つの動作の同時



的な関係を表現しているというより、一つの複合的な動作を表現していると言ってよかろう。具体的に言うと、いちばん最後に配置されている動詞が主要な動作を表して、先行する二つの動詞はその動作を行う時の動作主体の〈ふるまい状態〉を表しているのである。それに対して、例35)では、口・目という人間の器官を併用することが表現されている。正確に言うと、しゃべる時にはジュースを飲むことができないので、“吮着”の表しているのは継続する動作ではなく、反復的な動作であるということになるだろう。“吮”と“说”は、交互に行なわれる動作である。

34) 我端着一支带瞄准镜的大口径比赛专用步枪，以标准的射击姿态斜步站着，飞快地毫不停顿地连连扣动扳机，把一发发子弹射向二百米开外的靶心。(王 p275 ~ 276)

35) “还是当学生幸福，每年还有两个假。”她吮着汽水瞅着我说。(王 p557)

しかし、同じ文に共起する複数の動詞のうちの一つだけがアスペクト助詞“着”を従えている例もしばしば見かける。基本的には、片方(多くの場合は先行する動詞)だけが“着”を従えていれば、同時的な関係をつくることができるのである。

36) 石一动不动站着、任凭小乔摇晃他。(渴 p53)

37) 贺骑车往回返、一路留心着每个和白银相似的女孩。(无 p4)

上に挙げた例と違って、例38)、39)の場合は、後続する動詞が“了”を従えているため、“着”を従えている先行する動詞によって指し示される動作が続いている間に、同じ主体によるもう一つの新しい動作が挿入されることを表現している。

38) 那个东北的汉子在说着这些的时候，伤心地哭了，他说从此再也见不到她了。(朗 p129)

39) 妈妈说：“我可知道你姐姐的脾气！从来就疯，从来不管做妈妈的心！”

说着哭了起来。(門 p370)

しかし、次に挙げる例からも分かるように、同時性を表現するのに、時間副詞もよく利用されている。典型的なものとして、“一边……一边……”を挙げることができる。

40) 李高成一边想、一边默默地走回会议室。(挾 p149)

41) 他一边说一边拍打车门，说这车门是日本的。(无 p28)

この場合も、後ろに配置される動詞は主要な動作を表していて、それを行う時の〈様態〉としての副次的な動作を、前に配置される動詞が表している。もっとも、例 41) における“说这车门是日本的”というのは、“(一边)说”の内容に対する説明である。

次に挙げるのは、後続する動詞の前にだけ“一边”が使用されている例である。それでも同時的な関係であることは変わらない。

42) 老太太摸索着扣扣子，一边说“孩子他妈，人家愿意你当小组长，你就当了吧。”(門 p163)

2.2 異なる主体による同時的な動作 異なる主体によって行われる二つ、或いは二つ以上の動作が同時に存在することを表す時は、例 43) のような無標の場合はむしろまれである。

43) 王一站起身，朝来的方向走去，尹初石急忙拦住她。(渴 p107)

用例の数から言うと、「……时／……时候」というように、状況を表す従属文を使ったりして、ある動作が継続中に、もう一つの動作がそれと並行している、つまり同時であることを明示するのが圧倒的に多い。

44) 在他有一口没一口地吃饭时，妻子则有滋有味，满脸春色地不住地看着他。(挾 p135)

45) 普运哲和陶又佳在北京幽会的时候，葛佩云正在家里决心乱如麻。(无

p193)

- 46) 他脱鞋时, 王端着最后一道菜——精醋鱼走进厅里。(渴 p20)  
47) 在准备做晚饭的时候, 刘老师打来电话。(渴 p97)

もちろん、副詞、特に時間副詞によって、あるいは(時間)副詞とアスペクト助詞との共起によって同時的な時間関係を表すこともある。

- 48) 王一换好衣服来到厨房, 尹初石和小约一起正齐心协力地将一块蛋糕送进烤箱。(渴 p209)  
49) 秘书吴新刚正想上去跟这个门卫说话, 被李高成叫住了:……(扶 p173)  
50) 此时, 他正说着有关方面的规定, 一个黑人留学生打断了他的话, 他说: “……。”(渴 p10)  
51) 我们正在拌嘴, 钟宁来了, 敲门, 我和我爸都住了声。(玉 p70)

しかし、先行する動詞と後続する動詞の関係は一様ではない。例えば、例 44)、45) の場合は、文字通りの〈同時〉、つまり二つの動作が並行して存在していると考えられるが、例 46)、47)、49)、50)、51) の場合は、先行する動詞が前から続いている動作を指し示し、後続する動詞が先行する動作の継続中に新しく挿入される動作を指し示している。新しい動作の挿入によって前から続いている動作がそのまま止まってしまう場合がある。例 50) と 51) がそうである。それでも、二つの動作がぶつかる瞬間が同時であることは間違いあるまい。一方では、例 48) の場合は、むしろ逆である。つまり、先行する動詞が新しく挿入される動作を指し示し、後続する動詞が前から継続している動作を指し示しているのである。傾向としては、前から継続している動作であることを表すために、副詞“正”、“正在”または“的时候”、“时”などを使う場合が多いことを指摘することができる。また、例 48) では、先行する動詞の表すのは、後続する動詞によって指し示される、継続中の先行する動作を発見するきっかけとなる動作なのである。次の例では、先行する動詞も後続する動詞も“着”を従えているのだが、おそらく副詞“也”を使っているため〈同

時) であることになっているのだろう。

- 52) 他静静地看着眼前的人群, 眼前人群的无数只眼睛也静静地看着他。(扶 p15)

例 48) と同じように、後続する動詞が継続中の動作を指し示し、先行する動詞が途中から挿入される動作を指し示している文の中には、先行する動詞が〈発見〉というカテゴリーカルな意味を表すものが多いようである。例えば、次の例 53) ~ 55) は、前に配置される動詞が“看见”、“发现”である。新しく挿入される動作は瞬間的なもの、正確に言うと言語的であれば、前から継続する動作は当然無限界的なものである。そうでなければ、二つの動作の間における〈同時〉的な関係は成り立ちにくい。動作が継続中であることを明示するためには、原則として有標の形が使われることになっている。具体的に言うと、アスペクト助詞“着”を使う他に、時間副詞の助けを借りたりすることも少なくない。

- 53) 进了家门, 我进卧室拉开柜子拿钱, 把钱拿出来时看见安心在客厅里正眼巴巴地等着, 连坐都没有坐下来。(王 p64)

- 54) 走出会议室的门口时, 他发现杨诚在默默地等着他。(扶 p155)

- 55) 我背着书包在菜市场里转了一圈, 发现她正拎了一网兜鸡蛋和两条带鱼, 站在蔬菜柜台前挑茄子和西红柿。(王 p556)

以下の例では、“看见”、“发现”など〈発見〉を表す動詞こそ使っていないのだが、実質的には上のグループと変わらないと思われる。ただし、時間副詞“已经”が使われているのが特徴的である。そのため、例 56)、57) における後続する動詞は、前から始まっていて、更に継続している動作を表しているのだが、例 58) の場合は、“睡下”という動補構造による組み合わせが限界動詞相当だから、“已经”と“了”との共起によってパーフェクト (perfect) を表しているのである<sup>4)</sup>。

- 56) 晚上, 估摸着那会计班该下课了, 我如约把车开到文化宫, 到达时安心已经等在路边, (略) (玉 p62)
- 57) 她赶到的时候还不到约定的时间, 但毛杰已经非常显眼地站在了商场正门的中间。(玉 p134)
- 58) 王一回到家, 小约已经在她自己房间睡下了。(渴 p103)

### 3. おわりに

以上、一つの文で同じ主体または異なる主体による二つ、あるいは二つ以上の動作を述べる時にはどういう手段が取られているかを考察してみた。その結果、無標の形も有標の形も使われるのだが、やはり条件付きで後者の場合が多い。そして、有標の場合は、アスペクト助詞がそれなりに機能していると同時に、時間副詞も重要な役割を果たしていることが分かった。一方、時間的な関係を持っている二つ、或いは二つ以上の動作（出来事）を別々の文によって表現することも当然あるわけだが、その場合はどういう特徴を見せ、同じ文に共存する場合とどう違うのか、それに対する考察は今後の課題である。

#### 注

- 1) 小嶋栄子 1999 参照。
- 2) 言語学研究会・構文論グループ 1989 参照。
- 3) もちろん、“我吃了”の“了”は、“了<sub>1</sub>”と“了<sub>2</sub>”が合体したものだという解釈も成り立つのだが、それにしても、bにおける“了”とは別個のものであるため、いっしょに扱ってはならない。
- 4) パーフェクトについては、工藤 1995 p99 は、〈ある設定された時点において、それより前に実現した運動がひきつづき関わり、効力を持っていること〉だと規定している。

《かたり》におけるタクシスの表し方

参考文献

- 奥田靖雄 1997 「かたり小説のかたり手」(プリント)
- 工藤真由美 1995 『アスペクト・テンス体系とテキスト』ひつじ書房
- 言語学研究会・構文論グループ 1989 「なかどめ——動詞の第二なかどめの場合——」『ことばの科学2』むぎ書房
- 小嶋栄子 1999 「ものがたりにおけるできごとの時間的な関係のあらわしかた——『スル』と『シテイル』のつかいわけをめぐって——」『総合社会科学研究』第2集1号
- ジェラルド・プリンス 1997 『物語論辞典』(遠藤健一訳)松柏社、増補版
- 高瀬匡雄 1999 「記述のかたり・説明のかたり」(プリント)
- ロラン・バルト著 1979 『物語の構造分析』(花輪光訳)みすず書房
- J・S・ペテフィ、A・ガルシーア=ベッリオ 1990 『テキスト言語学と文学批評』文化書房博文社

資料

- 岁——刘白羽, 程树榛编《岁月流金(下)》新世纪出版社, 1999
- 渴——皮皮《渴望激情》南海出版社, 2000
- 朗——赵玫《朗园》春风文艺出版社, 1994
- 走——叶兆言《走进夜晚》春风文艺出版社, 1994
- 无——铁凝《无雨之城》春风文艺出版社, 1994
- 鲁——《鲁迅文学奖获奖作品丛书中篇小说》华文出版社, 1998
- 王——王朔《王朔自选集》华艺出版社, 1998
- 抉——张平《抉择》群众出版社, 1997
- 玉——海岩《玉观音》群众出版社, 2000
- 门——林斤澜《门》北京燕山出版社, 1997